

2019年

藍里病院

# 6月 依存症家族勉強会のお知らせ

2019年

5月18日 土

13:30～ (開場 13:00)

13:30～15:00 **ギャンブル障害の治療**  
橋本 望 (岡山県精神科医療センター依存症部門医長)

平成16年3月岡山大学医学部医学科卒業後、岡山赤十字病院にて卒後臨床研修を修了し、平成18年4月より岡山県精神科医療センターにて精神科医師として勤務する。平成24年から岡山県精神科医療センター依存症部門医長。平成27年より、キングス・カレッジ・ロンドン精神医学・心理学・神経科学研究所依存症部門、英国立ギャンブルクリニックに1年間留学。現在、岡山県精神科医療センターにて依存症部門医長。資格は、精神神経科学会専門医、精神保健指定医。訳本に「アディクションのメカニズム」(金剛出版)。



15:10～16:10 **ギャンブル依存症からの回復**  
吉田 精次 (藍里病院依存症研究所所長)

昭和56年、徳島大学医学部卒業。平成13年からアルコール依存症治療を開始。平成19年からギャンブル依存症の治療を開始。現在は依存症全般を専門として治療にあたり、依存症家族勉強会を13年前から院内で月2回開催。依存症問題に悩む家族のための強力な援助プログラムであるCRAFTを全国的に広める活動を行っている。藍里病院副院長、藍里病院依存症研究所所長。訳書・著書に「CRAFT 依存症患者家族のための対応ハンドブック」監訳(金剛出版)、「家族・支援者のためのギャンブル問題解決の処方箋～CRAFTを活用した介入・支援の仕方～」(金剛出版)。



16:10～16:25 **当事者の話**

16:25～16:45 **質疑応答**

会場 **藍里病院依存症研究所  
研修ホール**

藍里病院 TEL088-694-5151(藤原・坂東)

主催/徳島・ギャンブル問題を考える会  
共催/ギャンブル依存症家族会・社会医療法人あいざと会

徳島・ギャンブル問題を考える  
市第  
民8  
公回  
開参加  
講無料  
座



## 第8回ギャンブル問題を考える市民公開講座を開催しました。

今年のギャンブル問題を考える市民公開講座の報告です。

四国からだけでなく、奈良県や山口県からも当事者、家族、支援者の方々の参加があり、研究ホールがほぼ満席となりました。この問題に対する社会の関心が高いのか低いのかという問題はともかく、少なくともこの問題に苦しみ、なんとかしたいという思いのある方々にしっかりと情報を伝えることが市民公開講座初回開催からの一貫した使命です。

### ①「ギャンブル障害の治療」

岡山県精神科医療センター依存症部門医長・橋本望先生に講演していただきました。

橋本先生は1年間イギリスに留学し、ギャンブル依存症の治療施設で研修されました。その経験から様々な具体的なお話をしていただきました。イギリスでは本人が受診することが大半であること、自分の問題をオープンにし、よく語り秘めることが少ないということに驚きました。ギャンブル依存症のメカニズムを脳疾患モデル、学習モデル、自己治療(信頼障害)モデルを使い説明されました。特に認知行動療法について詳しく話を聞くことができました。

認知行動療法は刺激制御、トラッキング(ギャンブルの記録日記なのですが、グラフの作り方が秀逸でした)と報酬、報酬活動を増やす、ギャンブル欲求に対処する、ギャンブルへの引き金、行動の機能分析、ギャンブルに対する考え方、これからの計画の8つの要素で構成されていました。非常に興味深い内容で、当院でも取り入れてみようという気になりました。

### ②「ギャンブル依存症からの回復と家族支援」

これは吉田が担当しました。今年4月19日にギャンブル等依存症対策推進基本計画が閣議決定されました。これによって大筋今後対策が進んでいくと思われます。問題ギャンブラーに対してネット投票できない制度の強化、ギャンブル場に併設するATMの廃止、治療・支援体制の強化などが盛り込まれています。青少年に対するギャンブル・インターネットゲームの危険について予防教育することも明記されているのですが、ギャンブルが危険であると啓発しながらカジノを作るという矛盾を感じざるを得ません。ギャンブル依存症に陥るメカニズムと回復に必要なこと、本人がチェックできる回復の目安、回復するための生命線などについて説明しました。家族に対する効果的な支援の必要性にも触れました。

### ③当事者の話

今年も当事者の方に体験を発表してもらいました。ここでその内容をお伝えすることはできませんが、壮絶な体験に絶句し、過去と向き合う真摯な姿勢に胸打たれました。アンケートでも多くの方が感想を述べていました。治療者や支援者の話では到底語ることができない話でした。

今回の市民公開講座の内容は逐語録を作成する予定です。出来上がりましたら、お知らせします。

※連載中の「依存行動の3層構造仮説の回復編その2」は来月に延期します。

6月 8日(土)AM10時～家族勉強会B(意見交換会)/新館ミーティングルーム  
6月22日(土)AM10時～勉強会A(講義と練習)/依存症研究所・研修ホール